


房日新聞

THE BONICHI SHIMBUN

11月21日 水曜日

平成30年(2018年) 旧暦10月14日(大安)

天気		北東の風のち南の風 降水 06-12 12-18 18-24 確率 0 0 20
潮位	満潮 03時20分/14時58分 干潮 09時00分/21時34分	中潮 (布良)

第19927号 (昭和27年8月23日 第3種郵便物認可)【月曜休刊】



トリアージを行う医療関係者＝安房地域医療センターで

館山市の安房地域医療センター(福内正義院長)で17日、大規模災害を想定した防災訓練が行われた。医師や看護師、専門学校の生徒らが参加し、総勢200人が有事に備えて手順を確認した。災害発生から傷病者の受け入れまで、流れを確認することなどを目的に年1回のペースで継続している訓練。県南各色に振り分け、院内に

医療センターで防災訓練

総勢200人が手順や連携確認

館山

館山市の安房地域医療センター(福内正義院長)で17日、大規模災害を想定した防災訓練が行われた。医師や看護師、専門学校の生徒らが参加し、総勢200人が有事に備えて手順を確認した。災害発生から傷病者の受け入れまで、流れを確認することなどを目的に年1回のペースで継続している訓練。県南各色に振り分け、院内に

搬送した。EMIS(広域災害医療情報システム)の入力や、自治体との衛星携帯電話、防災無線、災害時優先電話を使った通信訓練も行った。安房消防の救急隊も、エプテントを病院敷地内の駐車場に設置。同時にトリアージを行い、重症患者を救急車で搬送する訓練を展開した。訓練後、日本DMAT隊員は「細かい部分で改善点はあるが、毎年グッドアップしている」とコメント。同センターの担当者は「訓練は何度やっても完全とは言えない。今後も気を引き締めて訓練を行い、行政や関係機関とのさらなる連携も展開して

いきたい」と訓練を振り返った。